

【健康経営施策による効果】

カテゴリ	項目	2023年度
長時間労働対策	年間平均時間外勤務	13.0時間
	有給休暇取得率	68.9%
労災	労災件数	0件
健診	健康診断受診率	100%
	精密検査受診率	100%
	特定健康診査実施率	99.0% ※2022年度
	特定保健指導実施率	18.2%※2022年度
ストレスチェック	ストレスチェック受検率	95.3%
パフォーマンス 指標の開示	プレゼンティズム	6.2PT
	アブセンティズム	1.3%
	ワークエンゲージメント	7.0PT
その他	喫煙率	23.3%

- ・年間平均時間外勤務：
月ごとに正社員の法定時間外労働時間と法定休日労働時間の平均を算出し、その合計を12で割ったもの
- ・有給休暇取得率：
正社員の年次有給休暇取得日数 / 年次有給休暇付与日数 * 100
- ・健康診断受診率：
2023年度定期健康診断を受けた社員の数 / 2023年度定期健康診断の対象社員の数 * 100
- ・精密検査受診率：
2023年度定期健康診断受診結果より、産業医が精密検査が必要と判断した社員の中で、精密検査を受けた社員の数 / 2023年度定期健康診断受診結果より、産業医が精密検査が必要と判断した社員の数 * 100
- ・特定健康診査実施率：
TIG健保健康スコアリングレポート（2022年度実績分）より参照
- ・特定保健指導実施率：
TIG健保健康スコアリングレポート（2022年度実績分）より参照
- ・ストレスチェック実施率：
2023年度ストレスチェック実施者 / 2023年度ストレスチェック実施対象者 * 100
- ・プレゼンティズム：
全従業員に対し東大式（一部修正）による自己申告による調査・分析を実施。全社平均を10点評価に変換
- ・アブセンティズム：
病気等を理由として休んでいる従業員の比率（業務に就くことができない状態となっている割合）
- ・ワークエンゲージメント
ストレスチェックを用い、コミットメント理論を援用し、従業員や職場の「働きがい」を明確にするため、「会社への愛着」等 エンゲージメントに近い状態を示し、それを会社や上司がどのように関わっているかを「会社からの認知」として示している。（10点評価）
- ・喫煙率：
2023年度ストレスチェックにて、喫煙量の設問に対し「これまでどおり（吸っている）」
「吸い始めた／吸う量が増えた」と回答している社員の数 / 2023年度ストレスチェック実施者 * 100